

このページでは、「いっしょに！ OSAKINI プロジェクト」と題して、

2021年4月に設立された大崎町SDGs推進協議会

(参画団体：大崎町、鹿児島相互信用金庫、株式会社そののまち、株式会社南日本放送、有限会社そおりサイクルセンター、合作株式会社)の活動をご紹介します。

いっしょに

OSAKINI PROJECT

VOL. 07

新しい1年が始まりました、今年はどうなるのかワクワクします！ 新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。さて新年1回目の「いっしょに！ OSAKINI プロジェクト」では、去年10月から年末にかけて取り組んでいたプロジェクトの一部をご紹介します。

中垣るる (なかがさるる) ▶

事務局 広報/PR担当 / 所属：合作株式会社



1. Yahoo!とのイベントを開催しました

2021年8月に、ヤフー株式会社から企業版ふるさと納税の寄附先に大崎町が選定されました。この寄附をどのように活用するのか、事業の具体的な展望や内容を広く発信する機会として、10月8日(金)に、インターネット上でイベントを開催しました。ゲストとして、ヤフー株式会社からSR推進統括本部の長谷川琢也さん、大崎町住民環境課課長補佐兼環境対策係長の松元昭二さん、協議会の専務理事・齊藤智彦、進行役に慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教の高木超(こすも)さんにご登壇いただき、お二人の立場やご経験、知見を交えてお話をいただきました。当日は全国の手続き企業やメディアの方々が70名近くご参加いただき、大崎町への注目度の高さを改めて実感しました。



2. 研究者誘致プログラムを開始しました

大崎町で続けられている分別リサイクルがどれくらい環境にいいのかを調べたり、エコな商品を科学的な視点で評価・研究したりするため、専門知識を持つ研究者の方々の誘致がスタートしました。研究者と地域の方々をつなぐ橋渡し役は、元南極観測隊で現在も気候変動対策やSDGs推進に取り組む、環境学博士の大岩根尚(おおいわね ひさし)さんが務めます。また、町の地方創生環境政策補佐にも就任されました。今後、住民の方々にご協力をいただく際は、大岩根さんも一緒に活動する場面が増えるかもしれません。

初めて大崎町にお伺いしたとき、多くの住民や行政の方々が、分別の必要性や地球の持続性について考え、自分たちの言葉で語っていることに感動しました。それから2年以上のお付き合いになりますが、大崎町に来るたび、住民や行政の方々の思いの強さを感じています。

「大崎リサイクルシステム」を、環境、社会、経済にとってよりよい仕組みへとアップデートすることができれば、この取り組みは日本だけでなく世界中に広まり、循環型の世界に近づかず。研究者の方々が出した成果を住民の方々に対してきちんと共有・提案し、暮らしに反映し、社会へのインパクトを生みたいと考えています。大崎町での調査が世界の未来のためになると信じ、これから頑張りたいと思っています。ぜひ一緒に、よりよい未来を作りましょう！



大岩根尚さん：

鹿児島県三島村の硫黄島在住。地質学・海洋地質学を専攻し、2010年に東京大学にて博士号(環境学)を取得。鹿児島を中心とした様々な組織に関わり、地球規模の課題と地域とをつなぐ活動を進めている。